

(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所の業務実績に関する評価結果について

- 地方独立行政法人法に基づき、知事が議会の議決を経た上で中期目標を策定
- 研究所は当該中期目標を基に中期計画を策定し、調査研究などの業務を実施
- 知事は研究所の毎年度の業務実績について評価を行い、その結果を議会に報告



- (1) 今年度は第3期中期目標期間（令和2年度～5年度）の最終年度であるため「令和4事業年度の業務実績に関する評価」と併せて「第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価」を実施
- (2) 知事は上記評価結果を踏まえ、「第4期中期目標」（令和6年度～令和9年度）を策定
※ (1)(2)とも、外部の学識経験者等で構成される「大阪府立環境農林水産総合研究所評価委員会」から意見聴取

1-1 第3期中期目標期間（令和2年度～令和5年度）の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果

評価結果

全体評価：「全体として目標を十分に達成する見込みである」（下記①から③の項目全てにおいてA評価（目標どおり達成見込み））」

■ 評価委員会の主な意見

- ・ 農業大学の運営について、就学支援制度の創設、オープンキャンパスの実施などにより令和5年度の志願者回復に結びついている
- ・ 昆虫ビジネス研究開発について、社会影響評価を取り入れるなど社会受容の醸成を図っていただきたい
- ・ 女性職員比率が高いことはもっとPRすべき。なお、管理職の女性比率向上は課題である

① 府民サービスに係る技術支援の実施及び知見の提供

- ・ 中期計画において設定した数値目標（令和2年度～令和4年度）を概ね達成した
受託研究の実施件数（目標:60件、実績:72件）
受託研究利用者の満足度（5段階評価）（目標:4以上、実績:4.8）
事業者の技術相談対応件数（目標:1,350件、実績:1,552件）
事業者への情報発信回数（目標:2,100件、実績:2,554件） など
- ・ ぶどう酒の地理的表示（GI）の指定に貢献、大阪オリジナルブドウ品種「大阪R N-1」を品種登録した
- ・ おおさか気候変動適応センターを設置し、気候変動の影響と適応に関する情報の収集及び発信を行った
- ・ 大阪府が策定した大阪府生物多様性地域戦略の策定及び取組推進に貢献した



水稻の試験栽培

② 調査研究の効果的な推進

- ・ 中期計画において設定した数値目標（令和2年度～令和4年度）を達成した
外部資金による調査研究課題の実施等の件数（目標:240件、実績:280件）
学術論文や学会等での発表件数（目標:360件、実績:405件） など
- ・ 地球温暖化対策として水稻の栽培試験を実施し、高温耐性品種の「てんたかく」「恋の予感」の産地品種銘柄登録に貢献した
- ・ 害虫類のトラップ画像の自動送信による遠隔監視技術の有効性の実証などスマート農業に関する技術開発を進めた
- ・ 魚粉の代替として、食品残さを餌に育てたアメリカミズアブの幼虫粉末を含有する飼料を与えた養魚について、食味等が向上するなど有用性を確認した



ミズアブ含有飼料を給餌したマダイ

③ 業務運営、組織運営、財務内容等の改善と効率化

- ・ 働き方改革や新型コロナウイルス感染症対策のため在宅勤務やWEB会議システムを導入した

1-2 令和4事業年度 業務実績に関する評価結果

① 府民サービスに係る技術支援の実施及び知見の提供

- ・ 古墳から採取した酵母を活用したワインや、大阪産（もん）を活用した土産物等の開発へ技術支援をした
- ・ 景観を魅せる森づくりマニュアルの作成等、行政課題に対する技術支援を実施した



古墳酵母を活用したワイン（MISASAGI）

② 調査研究の効果的な推進

- ・ 大阪ぶどうネットワークの事務局として大阪のブドウ産業の振興に取組んだ
- ・ 道頓堀川でニホンウナギの生息を確認したことが多くのメディアに取り上げられた



大阪産（もん）を活用した土産物（水なす塩）

③ 業務運営、組織運営、財務内容等の改善と効率化

- ・ 職員の職務能力の向上や勤務意欲の向上を促すため、女性活躍のための相談窓口の充実等を図った

評価結果

全体評価：「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」（上記①から③の項目全てにおいてA評価（計画どおり進捗））」

■ 評価委員会の主な意見

- ・ 大阪湾で多く獲れるマイワシの廃棄部（頭部）を再利用した商品開発を支援したことは評価できる
- ・ エネルギーや原材料価格高騰に対し、研究業務や法人運営に支障が無いよう柔軟かつ早期に対応したことは評価できる